

お施主様用

正しく使って快適なフローリングライフを永く保つためのご注意

●雨濡れ

木質フローリングは本質的に水を嫌います。フローリング表面の変色やヒビ割れの原因となりますので雨濡れに注意して下さい。

●ホルムアルデヒド対策

シックハウス対応F☆☆☆☆商品です。

●日光

紫外線により変色やクラックの発生原因となります。カーテン・ブラインドで直射日光を遮って下さい。

●ホットカーペット

床暖房とこたつ、電気カーペットを併用しないでください。異常加熱により、フロアの継目部にスキ間が発生する恐れがあります。

●エアコン・加湿器

長時間エアコンをつけ異常乾燥しますと木材の伸縮によりスキ間や床鳴りの原因となります。加湿器などで湿度調整して下さい。

●重量物

ピアノや冷蔵庫など重量物には保護板を敷いて局部的に重量がかからないようにして下さい。凹みやキズのもととなります。

●水漏れ

水濡れしたまま放置しますとフローリングの変色、シミやヒビ割れを伴うことがあります。雑巾で拭き取りよく乾かして下さい。日頃のお手入れは乾拭きをお願いします。

●結露

結露によりフローリングの継ぎ目、V溝から水がしみ込み変色やシミを伴うことがあります。すみやかに水分は拭き取って下さい。

●マット

キッチン前、洗面所、浴室出口前のように常に水のかかる場所は、滑りやすくなり危険ですので必ず足拭きマットをご使用下さい。また、マットは長時間湿った状態にせず早めに取替えて下さい。

●洗剤・クリーナー

アルカリ性のものは絶対に使わないで下さい。木材の成分がアルカリ反応して変色・シミの原因となります。強い汚れ等は中性洗剤もしくは固く絞った雑巾をご使用下さい。

●油污れ

長時間放っておくとシミや変色することがあります。汚れがひどい時には中性洗剤で拭き取って下さい。クレンザー類は表面を損傷しますので使用しないで下さい。

●ワックス

基本的にワックス掛けは必要ありません。しかし長期間のご使用により、小さなスリ傷が気になりだしたら、ワックスを使用して美観を回復することはできます。但し一度ワックスを使用されますとワックスによる定期的なメンテナンスが必要となります。またその際には、使用方法をご確認の上、ワックスはジョンソン・プロフェッショナル(株)「ニューエボックス」又は(株)リンレイ「ハイテクフローリングコート」をご使用下さい。

●ファンヒーター

局部的に長時間熱風が当たるとフローリングが縮んでスキ間を伴うことがあります。マットなどを敷いて保護して下さい。

●ペット

ペットの排泄物で木材がアルカリ汚染しフローリングの変色やシミの原因となりますので排泄物が直接フローリングに触れないようご注意ください。

●調味料

しょう油などこぼした場合は固く絞った雑巾で速やかに拭き取って下さい。

●椅子

表面硬度をアップさせたフローリングですが凹みやキズをより少なくきれいに保つために足先にフェルトやゴムキャップをつけるか敷物をお使い下さい。

